

雨にも負けず、風にも負けず、原発にも風評被害にも負けない、東に困っている組合員さんがいれば、行って相談に乗り、西に助けを求めている組合員さんがいれば、すぐに駆けつけるそんな浜通り医療生協に、私たちはしたい！



震災復興ニュース

【No.5.2011年4月30日(土)発行】

医療生協 組織部 電話 92-3099 Fax92-3105

支部の組合員さんと一緒に訪問

土曜日の今日は、昨日に引き続き岡小名地域を訪問。ここは移転前の生協病院があった地域なので組合員比率も高く（約30%）、「こんにちは、生協病院で～す。」と声をかけると、「屋根をやられた。」「一人暮らしなので水は助かります。」と次々話が出てきます。



支部の運営委員さんと一緒に訪問



津波で倒壊したお宅

一方、勿来方面に出かけたチームは、勿来支部の運営委員さんたちと一緒に訪問行動。津波被害の大きかった沿岸部の32軒を訪問。ほとんどが床上以上の浸水で、家を流されてしまったお宅



震災直後の佐糠地区

防波堤がばらばらになって流され、本来は防波堤の陰になって見えないはずの海が見えています。

も。お墓もメチャメチャに倒れたままになっていました。

地元の人と一緒になので声かけもスムーズ。「やっぱり地元の方は声のかけ方が違うのよねえ。」と職員も感心しきり。ここでも水とマスクは好評でした。

今日も活躍お助け隊

昨日は玉川で大谷石の塀の撤去と、諏訪町で6畳×二間の畳上げに出動したお助け隊。今日はブロック塀の運び出しに。10メートル近く崩れたブロック塀を、軽トラで3往復！して撤去しました。こんな人手のかかる作業は、高齢の組合員さんが自力でやるのは無理。どうしようかと途方に暮れていたところのお助け隊で、とても感謝されました。いい汗かいた！



崩れたブロック塀を軽トラで運び出し

地震にも負けず、津波にも負けず、原発にも風評被害にも負けず、東に困っている組合員さんがいれば、行って相談に乗り、西に助けを求めている組合員さんがいれば、すぐに駆けつけるそんな浜通り医療生協に、私たちはしたい！



震災復興ニュース

【No.6.2011年4月30日(土)発行】

医療生協 組織部 電話 92-3099 Fax92-3105

一週間で 1700 件以上！を訪問

全日本民医連の支援による地域訪問は本日で終了。東京・千葉・茨城と県内各所の民医連の仲間が、この一週間で延べ131人も駆けつけてくれました。中には宮城の支援に引き続き小名浜に入ってくれた方も。

1,737 件を訪問し、972 件の対話。お助け隊や避難所訪問も 9 回を数えます。浜通り医療生協からも職員や理事・組合員さんが延べ 126 人が参加し、これまでにない規模での取組みとなりました。(下表「訪問行動参加者数」)

区分	25日(月)		26日(火)		27日(水)		28日(木)		29日(祝)	30日(土)	集計
	AM	PM	AM	PM	AM	PM	AM	PM	AM	AM	
訪問行動	14	27	24	20	20	16	19	24	15	21	200人
お助け隊	0	0	0	0	0	3	13	0	9	4	29人
事務局	4	4	4	4	4	4	4	4	2	3	37人
避難所訪問	0	0	0	0	0	0	7	0	0	0	7人
合計	18	31	28	24	24	23	43	28	26	28	273人

県民医連	2	2	0	0	0	0	7	4	2	1	18人
全日本民医連	2	9	9	10	11	10	18	15	20	9	113人
ボランティア	2	2	2	2	2	2	2	2	0	0	16人
職員	8	12	13	9	10	9	10	6	3	7	87人
組合員	0	0	1	0	0	0	4	0	1	6	12人
理事	4	6	3	3	1	2	2	1	0	5	27人

経験豊富な支援の人たちと一緒に訪問できたことは、私たちのこれからの活動にとっても大きな糧となります。自分の仕事を投げうって支援に駆けつけてくださった皆さん、本当にありがとうございました。私たちはこれからも「地震にも負けず、津波にも負けず、原発にも風評被害にも負けずに」地域に根を張って、前に向かって活動していきます。